



工場や発電所からの排水や工事現場の湧水に含まれる重金属処理などに使われています

- ・ 性状 液体（淡黄色～淡橙色）
- ・ 主成分 希土類化合物
- ・ pH 2.5～3.5
- ・ 比重 1.4～1.6（20℃）
- ・ 純分濃度 27wt%以上

特徴

低濃度域まで処理

硫酸バンド（硫酸アルミニウム）やPAC（ポリ塩化アルミニウム）に比べ処理性能が高く、**低濃度域までの処理が可能**。

他元素同時処理

処理の難しい陰イオン（ふっ素・ひ素・ほう素・セレン・リン・六価クロム）の同時処理が可能。

少ない汚泥発生量

少ない薬剤添加量で処理するため、**汚泥発生量が少なく、汚泥処分費用の削減が可能**。

pH調整がほぼ不要

中性～弱アルカリ域で使用でき、**処理後のpH調整が容易/不要**（pH調整は苛性ソーダでも可能）

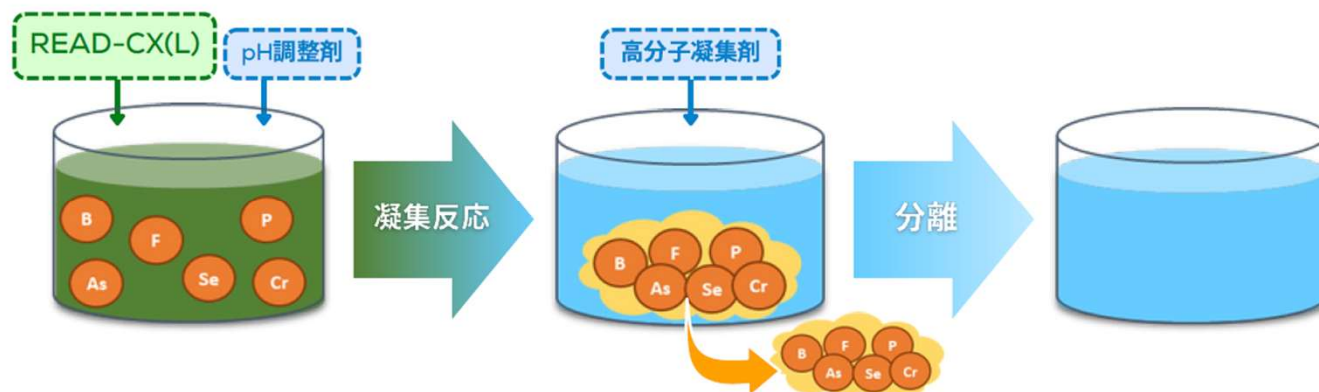
既存薬剤からスムーズに切り替え

従来薬剤と同条件で使用可能なため、**置き換えが容易**。

扱いやすい液体タイプ

液体のため事前の溶解が不要。現場での前処理作業を軽減し、ハンドリングに優れる。

凝集メカニズム



READ-CX(L)・pH調整剤を対象水に添加し、凝集反応させる

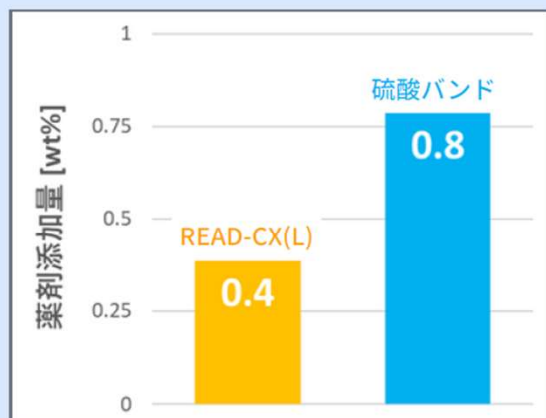
高分子凝集剤を対象水に添加すること有害物質が汚泥となって沈殿（有害物質は産廃汚泥として処分）

有害物質が除去され上澄液は浄化される

READ-CX(L)について ポイントを簡単にご紹介！

薬剤使用量

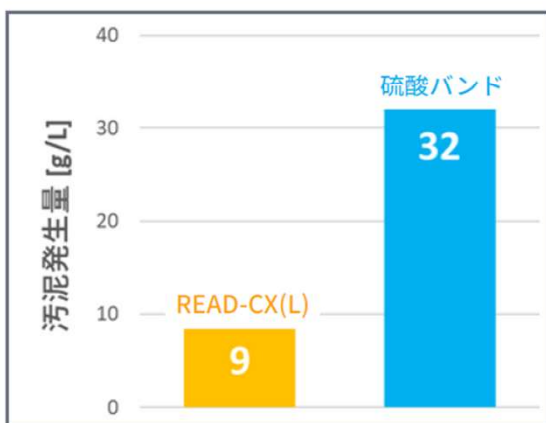
ほう素 50mg/L→10mg/Lに処理する場合の薬剤添加量



硫酸バンドに比べ1/2に抑えることが可能

汚泥発生量

ほう素 50mg/L→10mg/Lに処理する場合の汚泥発生量



硫酸バンドに比べ1/3以下に低減することが可能

トータルコスト削減

硫酸バンド(従来法)



READ-CX(L)



従来法と比較して

20～50% コストカット

※薬剤費・助剤費・汚泥産廃費から概試算



導入事例



【海外某所 石炭火力発電所の排水中ほう素処理】
READ-CX(L)による凝集沈殿と吸着法の組み合わせにより
ほう素濃度を500mg/Lから50mg/L未満まで処理を実現。

納品形態

20kgキュービテナ(左)または1m³ケミカルコンテナ(右)
で納品いたします。



よくあるご質問

Q

サンプル提供できますか？

A

ご利用目的および処理概要についてご相談いただいた
お客様にはサンプルを提供しております。

Q

使用期限はありますか？

A

基本的には劣化しませんが、1年以内にご使用ください。
ただし長期間静置すると成分が沈降することがあります
ので使用前には軽く攪拌してからお使いください。

Q

最低注文量はどのくらいですか？

A

20kgからご注文いただけます。

▼ホームページもぜひご覧ください▼



日本海水HP



特設サイト



お問合せフォーム

株式会社ジーアンドジー

住所 島根県松江市袖師町6-22

野津ビル103号

電話番号 0852-27-2120

